



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文**  
(公明会)

## 今後のコロナワクチン接種対応について

**問** 現在までの接種率について。

**部長** 12/6 現在、全年代で1回目79.0%、2回目が76.3%となっている。

**問** 公費負担はいつまで可能か。

**部長** 国の予防接種実施要領では令和4年9月30日までとなっている。3回目の追加接種を希望する方は2回目終了から8か月を経過しないと受けることができないため、1月中に2回目を受け終える必要がある。

**問** 国産ワクチンなどを望む方への対応について。

**部長** 現在国産ワクチンは開発の途上であり、薬事承認されていない。3回目までの使用ワクチンは国の管理のもと、県から各市町に配分されるため、市独自の判断はできない。今後国産

ワクチンなどが承認されれば接種可能となる。

**問** 3回目の予約対応について。

**部長** 1・2回目の優先順位に関係なく、8か月を経過した方から順次3回目の予約券を月に2回郵送を始める。予約方法は電話とネットで行う予定。市内では1月から医療従事者などの接種、2月から一般市民の接種が開始される予定。今後労働者や教員等への接種に対する時間的配慮、運用を考えていく。

**問** 5 - 11歳までの接種について、保護者への説明をどのように行うか。

**部長** 5 - 11歳以下の小児を対象とする場合、安全性や有効性が確認された小児用のワクチンを使用し、2回接種することを前提に準備している。薬事承認の申請が出されたのはファイザー製のワクチンのみでまだ承認はされていない。そのため時期も未定であり、事業の詳細は国県の動き、取組方法、市医師会・市立病院小児科医の意向も確認した上で、保護者に対しても分かりやすい説明をしていきたい。



すずき ひろむ  
**鈴木 弘**  
(至誠)

## 企業との連携～健康分野～

**問** 今年7月大塚製薬株式会社と富士宮市との間で協定が結ばれたが、市内の医療関連企業との連携はないのか伺う。

**市長** 企業との連携は大事。当市にはいろんな医療に関わる企業がたくさんあるのでそういうところと今進めている。

**部長** 世界的な知見をもっている会社と富士宮市との間で、どんなことが市民の幸せになるかという勉強を今月からしていきたい。その先には連携ということを見据えていきたい。

## 中部横断自動車道開通後とコロナ後の富士宮市の観光について

**問** 11月になって清水の魚市場には、山梨県及び長野県からの車両が増えているという。このような旅行者に富士宮市に寄ってもらえるよ

うなPRができないか伺う。

**部長** 中部横断自動車道の静岡、山梨区間の全線が開通したことを契機に中部横断自動車道を中心とした観光誘客を推進していくことが必要である。今後本市の西の玄関口である芝川地区から、どのように誘客を図れば効果的であるか、回遊性の創出も含めて研究し、PRにつなげていきたい。

**問** 静岡市との連携した観光地図はあるか。

**部長** そのようなものはないと思っている。

**意見** そのような観光マップをぜひ研究していただきたい。

**問** 教育旅行の誘致について伺う。

**部長** 中部横断自動車道の開通により静岡県が長野県、山梨県、新潟県、静岡県の中央日本4県を対象とし、本県への教育旅行を誘致する促進策を実施している。その動向に注視しつつ本市においても誘致活動について研究していきたい。